

## 夏季休業前集会 校長の言葉

7.7.18

皆さんこんにちは。令和7年度がスタートしてもうすぐ4か月になります。ここまで学校生活を振り返ってみてどうだったでしょうか。よくできしたこと、もう少しこうすればよかったと思うこと、それぞれあるのではないかと思いますが、夏休み前の節目にあたって、私なりに感じた「北中生にはこんなよさがある」という話をしたいと思います。

大きく二つお話したいと思います。一つ目は「クラスや友達を大切にできる」ことです。体育祭や生徒集会では、クラスが勝利に向かって団結しつつ、笑顔で楽しむことができました。また、授業中の様子などを見ても、一人一人の意見が大切にされているなと感じます。これからもクラスや友達との絆を深めながら学校生活を楽しんでいってほしいと思います。

二つ目は「集団生活のきまりやマナーをきちんと守って生活できる」ことです。修学旅行や宿泊学習、見学旅行での行動の様子も立派でしたが、私が4月から見てきて感心していることがあります。場所によって多少差はあるのですが、トイレのスリッパがきちんとそろえられているということです。「そんなこと？」と思うかもしれません、次に使う人へのちょっとした気遣いや、みんなで使うものや場所を大切にしようという、皆さん的心の在り様が行動に表れているのだと思っています。とても大切なことです。

さて、いよいよ明日から 39 日間の夏休みが始まります。夏休みの過ごし方については、この後、大塚先生と小祝先生から話があると思いますので、校長先生からは皆さんに、夏休みを迎えるに当たってとても大切な話を一つだけしたいと思います。それは、「自分の安全を自分で守る」ということです。夏休みは楽しいこともたくさんあると思いますが、そんなときこそ、このことを思い出してください。具体的には交通事故や水の事故、栃木県特有のこととして落雷に対する注意も必要です。犯罪に巻き込まれないようにするということもあると思います。特に SNS の使い方には注意してください。そして、心にとめておいてほしいことは、これは皆さんに限ったことではないのですが、せっかく安全に関する知識や判断力を身に付けても、時とし、「このくらい大丈夫だろう」という油断があったり、安全よりもその場の楽しさが優先になってしまったりしてしまうことがあるということです。日本中で毎日のように悲しい事故が起こっているのに、私たちはなぜか「自分に限ってそんなことが起こるはずがない。」と考えてしまいがちです。そして、事故はそんなときに起こるものです。危機というものは自分の外にだけあるのではなく、私たちの心の中にも潜んでいます。注意していきましょう。最後に、8月27日の夏休み後の集会のときは、また一回り成長した皆さんの明るい笑顔が見られることを期待しています。それでは皆さん、充実した楽しい夏休みを過ごしてください。